

# 第1次村上市男女共同参画計画

## 基本目標Ⅱ 男女がともに参画しやすいまちづくり

### 基本目標Ⅱの体系

男女がともに参画しやすいまちづくり

- 重点分野1 政策・方針決定の場への女性の参画推進
- 重点分野2 地域活動における男女共同参画の推進
- 重点分野3 女性の人材育成



### 基本目標Ⅱの内容

これまで、女性が政策・方針決定の場や地域活動に参画することは男性に比べて少なく、女性の知識や経験が十分に活かされてきませんでした。

男女共同参画社会を実現するためには、男女がよきパートナーとして、ともにあらゆる分野に参画し、それぞれの視点による意見を反映していくことが重要です。

しかし、意思決定の場への女性の参画を阻む多くの問題が指摘されていることも事実であり、女性の参画推進に向けた啓発を図っていく必要があります。

また、職場や地域における女性の人材育成を推進し、「男女がともに参画しやすいまちづくり」を目指します。

### 重点分野1

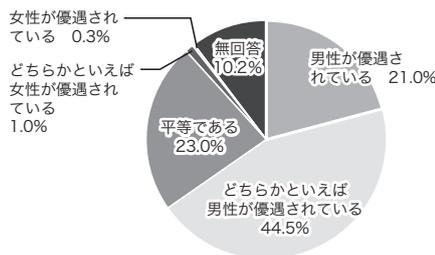
政策・方針決定の場への

女性の参画推進

市民意識調査によると、政治・経済活動の場における男女の平等感については、65.5%が「男性が優遇されている」と回答しています。

女性が政策・方針決定の場に積極的に参画し、個性や能力を発揮して社会的責任を担っていくことは、男女共同参画社会の実現のために必要不可欠なものです。

市でも、審議会などの委員に多くの女性が参画するよう、さらに積極的な取り組みを進めるとともに、事業所や各種団体においても女性の参画が拡大されるように啓発活動を行うことが必要です。



▲政治活動の場における男女の平等感  
※男女共同参画に関する意識調査(平成23年度実施)から

### 【課題解決のための施策】

#### 施策(1)

市の政策決定の場への女性参画の推進

① 審議会などへの女性の参画の拡大

#### 【全課】

② 市役所内部における女性職員  
の管理職などへの積極的登用  
[総務課]



施策(2)

各種団体や事業所などにおける方針決定の場への女性参画の推進

①女性の役職への登用の啓発や

広報活動

〔商工観光課〕

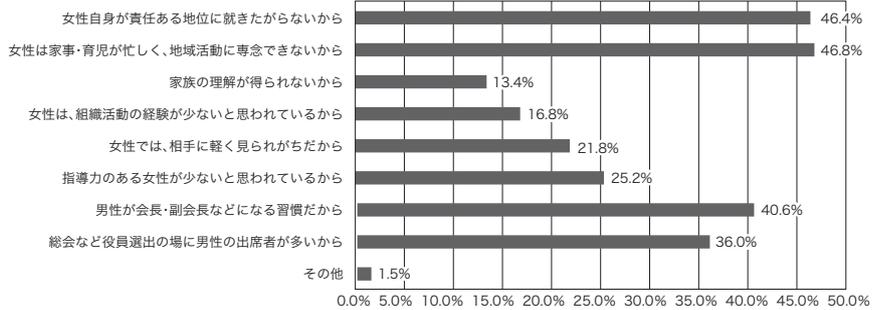
重点分野2

地域活動における

男女共同参画の推進

市民意識調査では、「地域活動の役員に男性が多い原因は何か」との問いに対して「女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できないから」が46.8%で最も多くなっており、固定的な性別役割分担意識が根深く残っているのが現状です。

女性も地域の一員であるという意識付けを行うための啓発活動を進め、地域活動により多くの女性の意見を反映させるための仕組みづくりが必要です。また、防災分野においても、女性の視点を取り入れるなど、男女共同参画を進める必要があります。



▲PTAや町内会などの地域団体における役員に男性が多い原因  
※男女共同参画に関する意識調査(平成23年度実施)から

【課題解決のための施策】

施策(1)

地域づくりへの女性参画の推進

①市民協働のまちづくりの推進

〔自治振興課〕

施策(2)

防災分野における女性参画の推進

①農協女性部防火クラブの活動への支援

〔消防本部〕

②自主防災組織への女性参画の推進

〔総務課〕

③災害時における女性相談員による窓口の設置

〔総務課〕

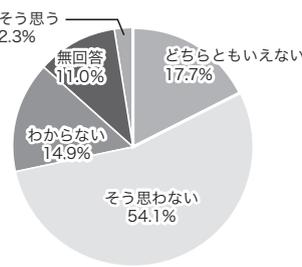
重点分野3

女性の人材育成

女性が政策・方針決定の場や地域活動に参画していくためには、女性自身の意識改革を進めることが大切です。

女性の知識や経験をあらゆる分野に活かしていくために、人材育成と能力向上の機会や行政が行う各種研修などに積極的に参加するよう、働きかけていく必要があります。

また、女性の人材発掘や育成する場所づくりを進め、地域の活性化につなげていくことが必要です。



▲女性の能力発揮の場が多いと思うか  
※男女共同参画に関する意識調査(平成23年度実施)から

【課題解決のための施策】

施策(1)

女性の社会参画に向けた人材育成

①管理職向け研修などへの参加啓発

〔商工観光課〕

②市役所内部における女性の人材育成のための研修機会の確保

〔総務課〕

③市民協働のまちづくりの推進

〔自治振興課〕

④女性が中心となって活動する団体への支援

〔全課〕

- ⑤地域の茶の間、老人クラブ活動への支援
- 〔介護高齢課〕
- ⑥農村地域生活アドバイザーの育成
- 〔農林水産課〕
- ⑦社会教育団体などへの支援を通じて女性の人材育成
- 〔生涯学習課〕
- ⑧PTA活動における男女共同参画の促進
- 〔学校教育課〕

●問い合わせ

政策推進課企画政策室  
☎ 53・2111 (内線532)

6月23日～29日は、「男女共同参画週間」です  
『紅一点じゃ、足りない』

(平成25年度 男女共同参画週間キャッチフレーズ)

男女が職場や家庭、地域で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには一人ひとりの取り組みが大切です。

この機会に男女のパートナーシップについて考えてみませんか。